

**名古屋鉄道株式会社、グループ全体の情報共有基盤として「ガルーン」を6,000名規模で本格稼働
～内部統制に関わる文書から、イベント情報のお知らせまで情報共有を統一～**

サイボウズ株式会社（本社：東京都文京区 代表取締役社長：青野 慶久（戸籍名：西端 慶久）以下サイボウズ）は、名古屋鉄道株式会社（本社：愛知県名古屋市 代表取締役社長：山本 亜土（以下、名鉄））が、大規模向けグループウェア「サイボウズ ガルーン 2（バージョン 2.5.2）」を本社と約 140 社に及ぶグループ会社全体の 5,900 ユーザーにて導入し本格稼働を開始されたことを発表いたします。

運輸、不動産、レジャー・サービス、流通事業など多岐にわたり展開している名鉄グループは、人々の暮らしと地域社会の発展に貢献をしています。地域から愛される「信頼のトップブランド」をめざすことを経営理念として掲げている同グループ。グループ各社の情報基盤を統合することで各社の強みをより生かし、連携の強化をはかるため、グループ会社間で共有できるグループウェア「ガルーン 2」を導入しました。

【導入の背景と決め手】

2001 年ごろより、連結での決算が重視されるようになりグループ会社との通達や報告をやりとりするツールとしてグループウェア製品の強化を図りましたが、グループ各社の自社のツールが独立していたこと、ユーザーインターフェースの使いにくさ、グループ各社のITリテラシーのばらつきなどの理由により、会社内の総務、経理等の限られたユーザーのみでの利用に留まっていた。さらに、2007 年になるとシステムの老朽化も進んできたため、グループ全体のメンバーが利用でき、かつ既存製品を運用するよりもコストを軽減できる新たなシステムを検討していたところ、「ガルーン」のデモンストレーションに触れ、以下の点を評価し導入を決定しました。

- ・各社内・グループ内での様々な情報を整理するため、ポータル機能（アクセス制御含む）を要していること
- ・Web サイトを触るような感覚で利用することができ、教育コストがかからないこと
- ・企業数・ユーザー数が多いので、ユーザーを階層で管理でき、アドレス帳を電話帳としても流用可能なこと

【導入時の工夫】

何カ月先まで施設予約を許可するかなどといった各社ごとに異なる細かな運用方法をヒアリングで聞き出し、利用上の統一したルールとして落とし込んだ「利用規約」をグループ会社に周知いたしました。このような取り組みと、サイボウズの直観的なユーザーインターフェースにより、運用開始日に殺到することを予測していたヘルプデスクへの問い合わせはほとんどありませんでした。

また、ユーザー情報のメンテナンスについて、連携 API を使い独自のユーザー管理システムを構築しました。これは、例えば社員の増減があった際に、申請から承認、「ガルーン 2」のユーザー情報に登録されるまでを自動化した仕組みです。「ガルーン 2」のユーザー管理画面にアクセスせずにユーザー情報の管理ができる他、ユーザーの事前登録などでもできるシステムとしてグループ会社である株式会社メイテツコムとベンダーの協力のもとで開発いたしました。登録完了の際に E-mail で通知が飛ぶなど、各ポイントでアラートが出るのでスムーズに登録処理が進むシステムになっています。グループ全体で千単位での人員の異動が発生することもあるため、今まで非常にコストがかかっていたユーザー情報管理の効率化を図ることができました。

【導入時の活用】

基本的には、「ガルーン 2」上の全アプリケーションをグループ各社ごとで利用できるようアクセス権を設定し、各社に権限を委譲しています。各社ごとの運用に於いては、月 1 回の運用報告会議で運用管理レポートをもとに、ユーザー数の増減や利用上の課題を把握できる仕組みにしています

それとは別に、全グループ会社が閲覧可能なポータルも作成し、内部統制上求められる、規則やマニュアル類をファイル管理にアップしています。

■ポータル・掲示板

グループ全員が閲覧可能な全体のポータルと、グループ会社ごとにアクセス権を設定したポータルを作成し情報の内容によって、掲載先を使い分けています。また、誰でも自由に書き込んでよい掲示板を設けており、そこではレジャー事業や飲食事業を行っているグループ会社のイベント情報や店舗情報を書き込んだりして、グループ間での情報共有にも役立っています。

■スケジュール

今までは、各個人の予定を登録していなかった部署でも利用が促進され、社内におけるスケジュール調整業務の効率化が図れました。また、スケジュールの登録をもって日常の営業活動記録として活用も進んでいます。

■ 回覧板(社内メール)

Email と異なり、社外に情報が出ないので、社内メンバー間でのみの通達事項で安心して活用しています。フォローを書き込むことで電子会議室としての利用も可能なため、更に活用を促しています。

■ ファイル管理

通達文書、規則、社内報など様々なデータをノウハウとして蓄積しています。従来のシステムに蓄積されていたデータも移行して利用しています。

また、名鉄グループ(Group)内での情報共有する場(Room)の意味を込めて「ガルーン」に「GROOM(グルーム)」という愛称をつけて社内報で紹介するなど、活用の促進を図っています。

【今後の展開】

ユーザー数のさらなる拡大、また営業担当者などが、出先からも報告や情報の共有が行えるようモバイルでの利用環境を整備していきたいと考えています。

■ 利用画面イメージキャプチャ



キャプチャ画像ページ: http://group.cybozu.jp/news/images/img_110222_1.html
http://group.cybozu.jp/news/images/img_110222_2.html

■ 事例紹介ページ

導入の決め手などインタビューした詳細の内容はこちらをご覧ください。

<http://cybozu.co.jp/casestudy/example/meitetsu/>

■ サイボウズ ガルーン 2 概要 <http://g.cybozu.co.jp/>

Web ブラウザとネットワーク環境があれば、簡単に社員のスケジュール管理や業務連絡を行うことのできるビジネス用ソフトウェアです。中小規模向けグループウェア「サイボウズ Office 8」の使いやすさはそのままに、スケラビリティ、管理機能、APIによる拡張性が充実した、1万人規模の大企業でも快適にご利用いただけるエンタープライズグループウェアです。

■ マスコミ各社様からのお問い合わせ先

□ サイボウズ株式会社 社長室 コーポレート・コミュニケーション: 村松・浅野
〒112-0004 東京都文京区後楽 1-4-14 後楽森ビル 12 階
TEL: 03-6316-1160 / FAX: 03-5805-9036 / MAIL: pr@cybozu.co.jp

※記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。また、当社製品には他社の著作物が含まれていることがあります。個別の商標・著作物に関する注記については、こちらをご参照下さい。

http://cybozu.co.jp/company/copyright/other_companies_trademark.html